

2025年9月18日

「日経リスクリングアワード2025」企業・団体総合部門 最優秀賞を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、「日経リスクリングアワード2025※¹」において企業・団体総合部門 最優秀賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

当社は、4月に導入した「スキル型人事制度※²」を通じて、全社員でスキルの向上に取り組んでいます。社員一人ひとりがスキルを高めることで、従来の年功序列やゼネラリスト志向等の積年の課題を打破し、真のお客さま本位を実現のうえ、お客さまから最も選ばれる保険会社を目指していきます。

※¹：運営事務局Webサイト <https://ps.nikkei.com/reskill-award2025/>

※²：【人事改革】「スキル型人事制度」の導入（2025年4月1日ニュースリリース）

1. 「日経リスクリングアワード2025」の概要

本アワードは、株式会社日本経済新聞社が主催し、先進企業や団体のリスクリング（学び直し）を推進するための戦略や事例を社会に広く周知し、日本経済の新たな成長、また魅力ある働き方や組織作りに向けた機運を醸成することを目的としています。企業・団体として、なぜリスクリングに取り組むのか、また取り組んだ結果としてどのように成長した成長像を描いているかというストーリー性や、変革が必要な時代になろうとする姿勢をベースに審査を行い、受賞企業や団体を決定します。

2. 受賞理由

- ・年功序列やゼネラリスト志向など伝統的な日本型雇用の慣行が色濃く残る金融業界において、「スキルを基軸にした組織運営」という先進的な取り組みに挑戦している。
- ・業務に必要な専門スキルにとどまらず、「基礎スキル」や「共通スキル」、「潜在スキル」も定義するなど、他に類を見ないほどスキルベースの人事制度を徹底している。
- ・一部の専門人材の育成にとどまらず、全社員が参加する包括的なスキリングを目指しており、「人材の変革を通じた会社組織の変革」というリスクリングの本質を体現している。
- ・「学びの意欲の向上」や「学習効果の最大化」など、リスクリングの段階ごとに課題を設定して、適切な仕組みの構築を目指している点も参考になる。

3. 当社の主な取り組み

当社は、改革にチャレンジする風土と言える企業文化を醸成し、「社員一人ひとりが希望する仕事やキャリアを、スキルを手段として自ら掴み取る機会や成長・貢献実感を得られる会社」を実現するため、全社を挙げた人事制度の改革に取り組んでいます。

項目	内容
スキル型人事制度の導入	「評価・異動昇進・等級・報酬・育成・採用等」すべての人事制度・運営に関して、スキルの習得・発揮を評価基準とし、社員がスキルを高めることが会社の目指す姿の実現、企業文化の変革、社員の成長・貢献実感につながる設計としている。
社内の多様なスキルを定義	約40部支店・約80人の多様な年齢・性別・役職の社員が、担当役員とも協議し、スキル型人事制度の軸となる約800種類のスキル定義・水準を策定した。
スキル向上の仕組み作り	社員のスキル向上を促進し、学習効果を最大化するために、研修等のコンテンツを展開するだけでなく、職場の環境整備や学びたくなる仕組みまで一貫した取り組みを進めている。

以上